

ネットワーク説明書

メルボード MB シリーズ



MB-1800

ご使用になる前に、この『ネットワーク説明書』をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

はじめに

本書はメルボード MB-1300、MB-1800 の共通説明書でネットワークを利用した使い方を説明しています。メルボード本体の使い方は別冊の「MB-1300/MB-1800 取扱説明書」をご覧ください。

●有線 LAN を介して次のことができます。

- ・読み取り画像を直接 BMLinkS 対応ネットワークプリンタから印刷する。
- ・普段お使いの社員証などの IC カードをタッチして、指定のメールアドレスに画像を添付したメールを送信する。
- ・専用 IC カードをタッチして指定の FTP 保存先へ画像を保存する。(オプション)

商標および著作権について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Safari、Apple、Mac OS、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- BMLinkS およびビーエムリンクスは、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- Mifare は、NXP セミコンダクターズ社の登録商標です。
- CyaSSL の著作権は wolfSSL Inc. に帰属します。
- FeliCa はソニー株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。その他、記載されている商品名、会社名は、各社の登録商標、または、商標です。

オープンソースについて

本機は、Mozilla Public License Version 1.1 に則り、「Mozilla LDAP C SDK」を一部改変し組み込んでいます。改変したソースコードは、http://www.plus-vision.com/opensource/mozldap-6.0.7_difffiles.zip に公開しています。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本機に接続するプリンタはメルボードの周辺機器として使用されることを前提としておりますので、パソコンと直接接続して使用する場合は動作保証はいたしておりません。
- (6) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

目次

はじめに	2
■ネットワークを使う前の設定	4
ネットワーク簡易設定(USB経由)のしかた	4
■ネットワークと接続して使う	7
詳細設定(LAN経由)のしかた	7
基本の設定操作	8
本体機器設定	10
ネットワーク設定-本体/プリンタ設定	11
ネットワーク設定-メール設定	12
ネットワーク設定-メールアドレス管理	13
ネットワーク設定-外部認証設定	14
ネットワーク設定-SSL設定	15
管理者メニュー-ユーザー設定	16
管理者メニュー-セキュリティ設定	17
管理者メニュー-メモリ管理	17
ヘッダー/フッター	18
機器情報一覧	18
ICカードと送信先メールアドレスを登録する	19
ネットワーク設定のリセット	21
ヘッダー/フッターの作成と登録のしかた	22
ネットワーク設定-専用ICカード設定(オプション)	23
FTP設定を専用ICカードに書き込む(オプション)	24
■読み取り画像をメール送信/印刷・保存する	25
準備	25
読み取り画像をメールに添付して送信する	25
読み取り画像を連続して別のメールアドレスに送信する	26
読み取り画像をFTPサーバーに保存する(オプション)	26
ネットワークプリンタから印刷する	27

ご注意

ネットワーク接続環境について

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。通信状態によっては、表示の遅延や、通信にエラーが発生する場合があります。

免責事項

- ネットワーク機能によって接続した機器に通信障害の不具合が生じた場合の結果について当社は一切責任を負いません。
- ネットワーク機能の使用または使用不能から生ずる付随した障害（営業利益の損失、事業の中断等による損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器および使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

ネットワークを使う前の設定

ネットワーク簡易設定 (USB 経由) のしかた

はじめてネットワークと接続してご使用になる場合は、本機の IP アドレスの確認や変更を下記の手順で行ってください。
ご購入時、本機は IP アドレスを自動取得するように設定されています。

ご注意

- ネットワークの設定はネットワーク管理者の指示に従ってください。
- パソコンから PC 保存用メモリのフォーマットはできません。
- パソコンから PC 保存用メモリにアクセス中は本体の操作ボタンを押さないでください。本機との応答に時間がかかったり、操作ができない場合があります。

1

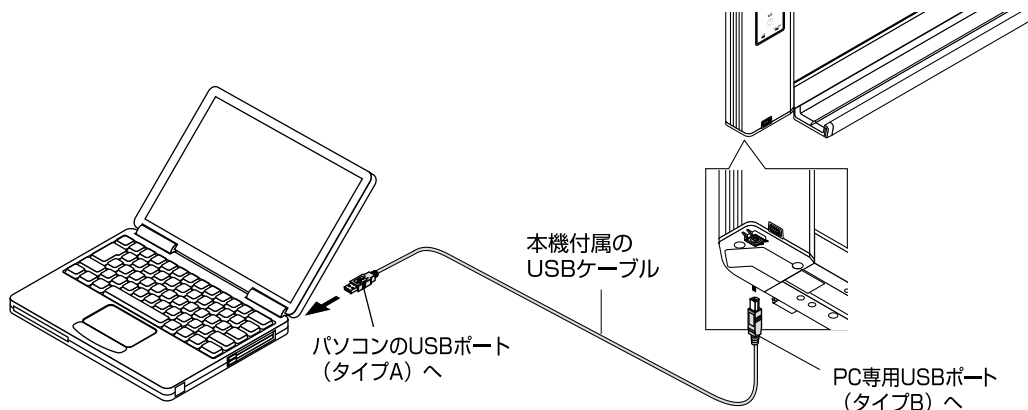
本機をネットワーク機器と接続する

本機の LAN 端子とスイッチングハブなどのネットワーク機器を市販の LAN ケーブル (10Base-T または 100Base-TX のストレートケーブル) で接続します。

2

本機の電源を入れ、PC 専用 USB ポート (タイプ B) とパソコンを USB ケーブルで接続する

- 標準ドライバが自動的にインストールされ、パソコンにリムーバブルデバイスとして認識されます。



3

エクスプローラを立ち上げ、本機のリムーバブルデバイスを開く

本機のデバイス (表示は機種名) をダブルクリックすると本機の PC 保存用メモリが開きます。

4

setup フォルダ内の “setting.ini” ファイルをパソコンのメモ帳などで開く

setting.ini の表記例

```
Version:04.00.00.05.00.00.52 ..... 本機のファームウェアのバージョンを表示
MAC Address ..... 本機の MAC アドレスを表示
Terminal Name ..... 本機の端末名を表示
-----
DHCP=on ..... IP アドレスの取得方法を入力
IP Address= ..... IP アドレスを入力
Subnet Mask= ..... サブネットマスクを入力
Default Gateway= ..... デフォルトゲートウェイは必要な場合に入力
```

● IP アドレスが自動取得の場合

- “setting.ini” ファイル内の、“IP Address”、“Subnet Mask”、“Default Gateway” にそれぞれアドレスが割り振られていることをご確認ください。
- ・ 設定内容をメモ書きして保管しておきましょう。

● IP アドレスを手動で設定する場合

- ① “setting.ini” ファイルの記述を直接書き換えます。
※入力可能な文字は半角数字とピリオドのみです。 空白は入れないでください。

項目	項目名	設定値	初期設定
ファームウェアバージョン	Version	変更できません	
MAC アドレス	MAC Address	変更できません	
端末名	Terminal Name	変更できません	
IP 取得方法	DHCP	off：手動 on：自動	on
IP アドレス	IP Address	任意	空白
サブネットマスク	Subnet Mask	任意	空白
デフォルトゲートウェイ	Default Gateway	任意	空白

設定例

DHCP=off

IP Address=192.168.11.120

Subnet Mask=255.255.255.0

Default Gateway=192.168.11.1

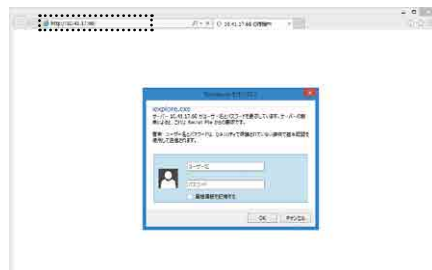
- ② “setting.ini” を上書き保存する。
- ・ 変更内容はメモ書きして保管しておきましょう。
 - ・ setting.ini の内容を保存すると本機は再起動します。

5

接続確認を行う

- ① ネットワークに接続しているパソコンの Web ブラウザ
(例：Internet Explorer) を立ち上げます。
- ② アドレス欄に本機の IP アドレス、または端末名を入力し、[Enter] キーを押します。
本機につながるとユーザー認証画面を表示します。
- ご購入時パスワードは設定されていません。
ユーザー名に半角英文字 admin を入力し [OK] ボタンをクリックします。

本体のトップ画面が開いたら本体のネットワーク接続が正しく行われています。



●本体のトップ画面が表示されない場合

- ・ 本機の LAN 端子が正しくネットワーク機器と接続されていますか。
- ・ プロキシサーバーを使用している場合は、プロキシの設定の「例外」に本機の IP アドレスを追加してプロキシを使用しないよう設定してください。

また、IP 取得方法が「手動」の場合は、次のことが考えられます。

- ・ 設定した IP アドレスの値が間違っていますか。
 - ・ 設定した IP アドレスが他の機器で使用されていませんか。
 - ・ 本機を複数台接続した場合、同じ IP アドレスでネットワークに接続していませんか。
 - ・ ルータ等の DHCP の自動取得範囲内に設定した IP アドレスが含まれていませんか。
-

ネットワークと接続して使う

●はじめてネットワークと接続するときは……

4 ページ「ネットワーク簡易設定（USB 経由）のしかた」をご参照ください。

ご注意 ファイアウォールを有効にした場合、本機は正常に動作しません。

詳細設定（LAN 経由）のしかた

本機をローカルエリアネットワーク（以降 LAN またはネットワークと表記します）と接続してパソコンの Web ブラウザから本体機器設定とネットワーク設定などを行います。

詳細設定を行うにはアクセス権が必要です。管理者の登録は 16 ページの「管理者メニュー—ユーザー設定」で行います。

ご注意 本機をネットワークに接続する場合は、必ずネットワーク管理者に相談のうえ、各設定を行ってください。

お知らせ

- ご使用のネットワークによっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。また続けてボタン操作を行うと本機が応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を切って、再度、電源を入れてください。
- Web ブラウザでトップ画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを押して Web ブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用しています。Web ブラウザはこれらの機能が動作するように設定してください。
- 本機は、ページ自動読み込み（リダイレクト）を行います。Web ブラウザは、この機能が動作するように設定してください。
- HTTP の SSL 通信を有効にすると Web ブラウザでアクセスした時にセキュリティ証明書の警告画面が表示されますが“このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。”を選択して作業を続けてください。

■基本の設定操作

ここでは設定画面の出しかた、終了のしかたを Internet Explorer (Web ブラウザ) を例として説明しています。

1

ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザを立ち上げる

「ページを表示できません」と表示される場合がありますが、そのまま次に移ってください。

2

本機の IP アドレス、または端末名を入力する

Web ブラウザのアドレス欄に本機に設定されている IP アドレス、または、端末名を入力し、[Enter] キーを押します。入力は半角英数字で入力してください。

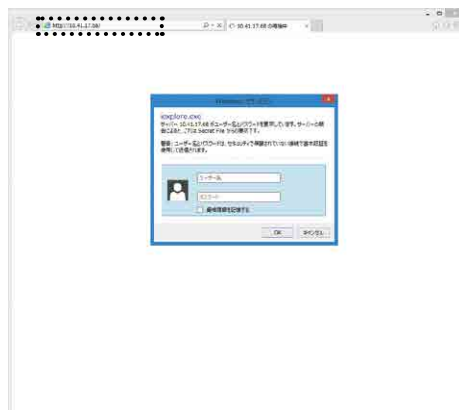
本機につながるとユーザー認証画面を表示します。

ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

- ・ご購入時パスワードは設定されていません。
ユーザー名に半角英文字 admin を入力し [OK] ボタンをクリックします。

お知らせ

- ユーザー名およびパスワードには大文字と小文字の区別がありますので正しく入力してください。
- パスワードを連続で 3 回間違えるとそのアカウントがロックされます。ロックを解除するには本機の電源プラグを接続し直してください。



ご購入時に本機をネットワークと接続するとき

4ページ「ネットワーク簡易設定 (USB 経由) のしかた」をご参照ください。

3

メニューから目的の設定項目をクリックします。
目的のページが表示されます。

本書の名説明ページをご覧ください。

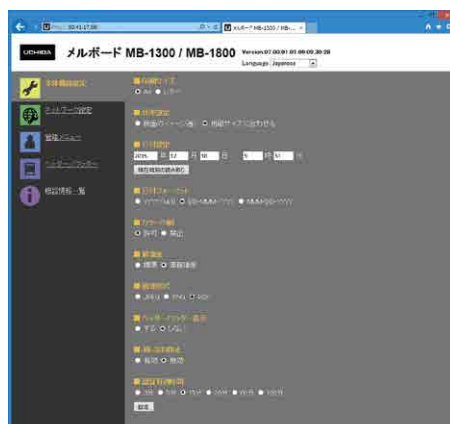
- ・本体機器設定 (10 ページ)
- ・ネットワーク設定
 - 本体/プリンタ設定 (11 ページ)
 - メール設定 (12 ページ)
 - メールアドレス管理 (13 ページ)
 - 外部認証設定 (14 ページ)
 - SSL 設定 (15 ページ)
 - 専用 IC カード設定 (23 ページ)
- ・管理者メニュー
 - ユーザー設定 (16 ページ)
 - セキュリティ設定 (17 ページ)
 - メモリ管理 (17 ページ)
- ・ヘッダー/フッター (18 ページ)
- ・機器情報一覧 (18 ページ)



4

変更や設定を行う

右の画面は本体機器設定のページです。



●選択と入力方法

ラジオボタン

選択項目のいずれか1つが選択できます。○をクリックすると●になります。

入力ボックス

ボックスをクリックすると矢印カーソルが文字入力カーソル「|」に変わります。パソコンの文字入力方法と同じです。

- ・入力文字には項目内容により制限があります。(13 ページ参照)

参照ボタン

クリックするとファイル参照画面を開き、参照するファイルを選択できます。

送信ボタン

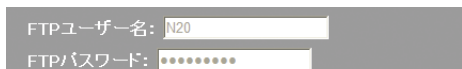
クリックすると選択したファイルを本体に送信します。

設定ボタン

クリックすると、設定／変更内容を本体に送り、書き換えます。書き換えが完了すると本体機器設定のページが「設定しました」の文字表示に変わります。

- ・ネットワーク設定の IP アドレスなどを変更したときは、本体が再起動します。(11 ページ参照)

設定や変更を行った場合は、必ず「設定」ボタンを押して、本体の内容を書き換えてください。



設定



5

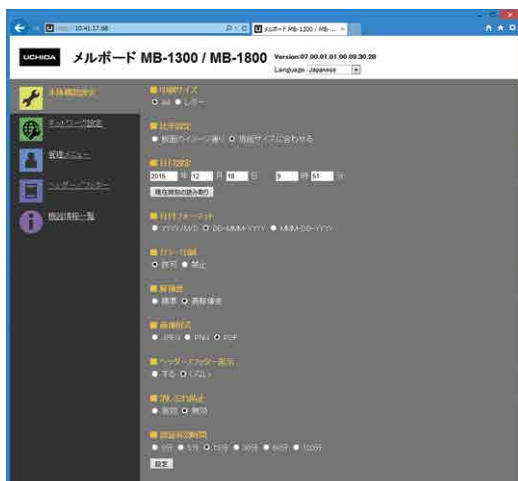
Web ブラウザを終了する

ブラウザ画面の終了 [X] をクリックすると終了します。



■本体機器設定

本機の各機能の設定変更のページです。本体ボタン操作の「機能番号と設定内容一覧」と同じ設定内容です。



本体設定項目	設定内容／説明	初期値
印刷サイズ	印刷サイズを選択します。	A4
比率設定	印刷の比率を選択します。	用紙サイズに合わせる
日付設定	<p>本体の日付と時刻を設定します。</p> <p>年：4桁、月：2桁（例 3月は03）、日：2桁（例 6日は06）、時：2桁の24時間入力（例 午後2時は14、午前6時は06）、分：2桁（例 0分は00）と入力します。</p> <p>※空白は入れないでください。また、日本語文字の数字は入力しないでください。日付設定が不正な値のときは、エラー表示されます。</p> <p>現在時刻の読み取り： [現在時刻の読み取り] ボタンをクリックすると、パソコンの現在時刻の表示に変わります。このため、日付時刻の設定が不要となります。</p>	—
日付フォーマット	<p>日付フォーマットの表示形式を選択します。</p> <p>表示例 YYYYY/M/D 2014/1/23 01:23 DD-MMM-YYYY 23-Jan-2014 01:23 MMM-DD-YYYY Jan-23-2014 01:23</p>	YYYY/M/D 年 / 月 / 日 / 時 / 分
カラー印刷	カラー印刷の許可 / 禁止を設定できます。	許可
解像度	読み取り画像の保存解像度を選択します。	高解像度
画像形式	読み取り画像の保存時の画像形式を選択します。	PDF
ヘッダー／フッター	本体に登録しているヘッダー／フッター情報を出力するか、しないかを設定します。	無効（しない）
消し忘れ防止	消し忘れ防止機能の設定をします。	無効
設定	<p>[設定] ボタンをクリックすると、上記の設定／変更内容を本体に送り書き換えます。</p> <p>書き換えが完了すると本体機器設定のページが「設定しました。」の文字表示に変わります。</p>	—

■ネットワーク設定－本体／プリンタ設定

ボード本体やネットワークプリンタの IP アドレスの設定を行います。



本体／プリンタ設定項目		設定内容／説明	初期値
ボード本体	端末名	ネットワーク上のボード本体の端末名を入力します。 ・半角英数字記号大文字を15文字以内で入力してください。 使える記号は－（ハイフン）のみです。 数字のみの組み合わせは使用できません。	機種名－ MAC アドレス下位6桁 (注4) (例:MB1800-ABCDEF)
	IP 取得方法	IP アドレスを自動で取得するか、手動で設定するかの選択です。 自動：DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 手動：IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定します。	自動
	IP アドレス (注1)	本体の IP アドレスを手動で設定します。ルータ等の DHCP を使用しているネットワークと接続する場合は、自動取得範囲外の IP アドレスに変更してください。	空白
	サブネットマスク (注1)	本体のサブネットマスクを手動で設定します。	空白
	デフォルトゲートウェイ (注1)	本体のデフォルトゲートウェイを手動で設定します。	空白
	DNS サーバー IP 取得方法 (注2)	DNS サーバーの IP アドレスを自動で取得するか、手動で設定するかの選択です。 自動：DHCP サーバによって自動的に割り当てられます。 手動：手動で設定します。	自動
	優先 DNS サーバー (注3) 代替 DNS サーバー (注3)	優先 DNS サーバーのアドレスを設定します。 代替 DNS サーバーのアドレスを設定します。	空白 空白
BMLinkS	プリンタアドレス	ネットワークプリンタのアドレスを入力します。	空白
	プリンタポート	ネットワークプリンタの制御ポート番号です。空白の場合はポートを自動で検索します。ネットワークプリンタのポート番号を変更している場合は、ネットワーク管理者の指示に従って変更してください。	空白
	部門コード	部門コードを入力します。 プリンタで、部門管理している場合は、半角英数字 32 文字以内で入力してください。大文字小文字を区別します。	空白
設定	<ul style="list-style-type: none"> ● ボード本体を設定／変更した場合 「設定」ボタンをクリックすると、上記の設定／変更内容を本体に送り、書き換えます。書き換えが完了すると「再起動します。少しお待ちください」の文字表示に変わります。 再起動中は本体の表示窓が順次回転点滅になります。消灯になるまでお待ちください。 再起動後、ブラウザの表示は自動更新しません。 ● BMLinkS を設定／変更した場合 BMLinkS の設定を設定／変更した場合は、「設定しました」と表示されます。再起動はしません。 		—

(注 1) IP 取得方法が自動の時は入力できません。

(注 2) IP 取得方法が手動の時は自動には設定できません。

(注 3) DNS サーバー IP 取得方法が自動の時は入力できません。

(注 4) 初期値の端末名は Web ブラウザには表示されません。

setting.ini ファイルでご確認いただけます。(4 ページ参照)

■ネットワーク設定—メール設定

読み取り画像を添付したメール（以下、画像添付メール）や、画像添付メールの送信内容を知らせるメール（以下、送信履歴レポート）を送信するための SMTP サーバー、差出人、送信許可ドメイン、レポート送信先メールアドレスを設定します。



メール設定項目	設定内容／説明	初期値	
SMTP 設定	SMTP サーバーアドレス	メール送信に使用する SMTP サーバーアドレスを設定します。 ・半角英数記号を 64 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
	SMTP サーバーポート	SMTP サーバーの標準制御ポート番号です。 ご使用の環境に合わせてポート番号を設定してください。	25
	SMTP アカウント名	SMTP サーバーに登録済みのユーザー名です。本機が SMTP サーバーへログインしてメールを送信するために必要です。 ・半角英数記号を 64 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
	SMTP パスワード	SMTP サーバーに登録済みのパスワードです。本機が SMTP サーバーへログインしてメールを送信するために必要です。 ・半角英数記号を 32 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
	認証方式	SMTP サーバーの認証方式を選択します。 自動の場合は、認証なし /PLAIN/LOGIN を自動で切り替えます。 ご使用の環境に合わせて認証方式を設定してください。	自動
	暗号化	SMTP の暗号化の設定をします。 自動の場合には暗号化の有無を自動で切り替えます。	自動
	差出人名	本機が送信するメールに表示される差出人名の設定をします。 ・半角英数記号を 15 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
	差出人メールアドレス	本機が送信するメールに表示されるメールアドレスの設定をします。 サーバーによってはアカウント名と同じでないとメールが送信できない場合がありますので、ご使用の環境に合わせて設定してください。 ・半角英数記号を 64 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	no-reply@example.co.jp
	ドメイン制限	送信先のメールアドレスのドメインに制限を掛けるかを設定します。 「する」に設定すると、送信許可ドメインを設定することができます。	しない
	送信許可ドメイン	送信を許可するメールアドレスのドメインを設定します。 複数のドメインを登録することができます。複数のドメインを登録する場合は「,」（カンマ）で区切って入力してください。（例：example.jp.example.com） ・半角英数記号を 256 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
タイムアウト時間	SMTP サーバーとの通信のタイムアウト時間を設定します。ご使用の環境に合わせて設定してください。	20	

ネットワークと接続して使う

メール設定項目		設定内容／説明	初期値
送信履歴レポート	レポート送信	送信履歴レポートを送信するかしないかを設定します。 「する」に設定すると、画像添付メールを送信する度に送信履歴レポートを送信します。	しない
	レポート送信先メールアドレス	送信履歴レポートの送信先メールアドレスを設定します。 ・半角英数記号を64文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
設定		[設定] ボタンをクリックすると、上記の設定／変更内容を本体に送り、書き換えます。 書き換えが完了するとメール設定のページが「設定しました。」の文字表示に変わります。	—

■ネットワークメールアドレス管理

ICカードと送信先メールアドレスの登録と削除を行います。



メールアドレス管理項目		設定内容／説明	初期値
送信先メールアドレス	メールアドレス登録先	メールアドレスを、ボード本体に登録したメールアドレス管理ファイルから読み込むか、外部認証サーバーから取得するかを選択します。	ボード本体
外部認証サーバー	メールアドレス属性名	外部認証サーバーに問い合わせる、メールアドレスの属性名を設定します。	mail
設定		[設定] ボタンをクリックすると、上記の設定／変更内容を本体に送り、書き換えます。 書き換えが完了するとメールアドレス管理のページが「設定しました。」の文字表示に変わります。	—
送信メールアドレス	インポート	[参照] ボタンをクリックするとファイルの参照画面が開きます。 メールアドレス管理ファイル (注1) を選択し、決定してください。	—
	送信	選択されているメールアドレス管理ファイルを本体へ送信します。 [送信] ボタンをクリックすると送信を開始します。 ・すでに本体に登録されている場合は、上書きされます。	—
	最終更新日	登録されているメールアドレス管理ファイル自体の更新日を表示します。	空白
	登録件数	登録されている送信先メールアドレスの件数を表示します。	0
削除		[削除] ボタンをクリックすると登録されている送信先メールアドレスを全て削除します。	—

(注1) メールアドレス管理ファイルの内容については19ページ「1. メールアドレス管理ファイルの作成」を参照ください。

■ネットワーク設定－外部認証設定

メールアドレスを外部認証サーバーから取得するための LDAP サーバーの設定を行います。

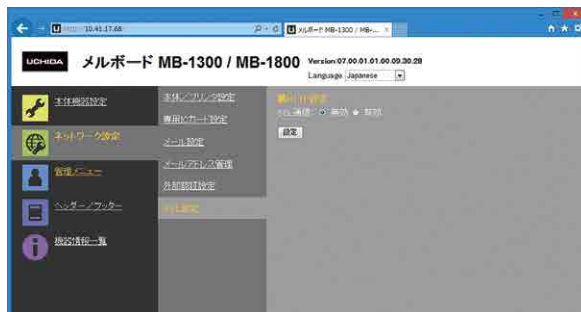


外部認証設定項目		設定内容／説明	初期値
LDAP 設定	プライマリ LDAP サーバーアドレス	プライマリ LDAP サーバーのアドレスを設定します。 ・半角英数記号を 64 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
	プライマリ LDAP サーバーポート	プライマリ LDAP サーバーのポート番号です。 ・ご使用の環境に合わせてポート番号を設定してください。	389
	セカンダリ LDAP サーバーアドレス	セカンダリ LDAP サーバーのアドレスを設定します。 ・半角英数記号を 64 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
	セカンダリ LDAP サーバーポート	セカンダリ LDAP サーバーのポート番号です。 ・ご使用の環境に合わせてポート番号を設定してください。	389
	認証ユーザー	LDAP サーバーへの認証用のユーザー名です。 ・半角英数記号を 32 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
	認証パスワード	LDAP サーバーへの認証用のパスワードです。 ・半角英数記号を 32 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
	検索起点エントリー	検索の起点となるエントリー（検索ベース）を設定します。 ・256 文字以内で入力してください。	空白
	カード ID 属性名	カード ID を格納している属性名を設定します。 ・64 文字以内で入力してください。	空白
タイムアウト時間	LDAP サーバーとの通信タイムアウト時間 [秒] を設定します。	20	
設定	[設定] ボタンをクリックすると、上記の設定／変更内容を本体に送り、書き換えます。 書き換え後に、LDAP サーバーへの接続テストを試みます。接続に成功すると外部認証設定のページが「設定しました。」の文字表示に変わります。	—	

記号一覧

全ての項目で使用可		!	#	\$	%	()	+	-	.	/	;
ユーザー名、パスワード、FTP フォルダ名で使用不可	:	@	[\]	^	_	`	{	}	~	
FTP フォルダ名でのみ使用不可	?	*										
送信許可ドメインでのみ使用可	,											

■ネットワーク設定－SSL 設定



SSL 設定項目		設定内容／説明	初期値
HTTP 設定	SSL 通信	HTTP 通信における SSL 通信の有効／無効を設定します。	無効
設定		[設定] ボタンをクリックすると、上記の設定内容／変更内容を本体に送り、書き換えます。	—

■管理者メニュー—ユーザー設定

管理者認証に必要なユーザー名とパスワードの設定、ネットワーク設定リセット時に必要な番号を表示します。



ユーザー設定項目	設定内容／説明	初期値	
管理者設定	管理者ユーザー名	管理者のユーザー名を設定します。 ・半角英数記号を 14 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。 大文字小文字を区別します。	admin
	管理者パスワード	管理者のパスワードを設定します。 ・半角大文字、半角小文字、数字、記号のうち、3つを組み合わせ、8文字以上 14文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	なし
メールアドレス管理者設定 (注1)	メールアドレス管理者ユーザー名	メールアドレス管理者のユーザー名を設定します。 ・半角英数記号を 14 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。 大文字小文字を区別します。	admin
	メールアドレス管理者パスワード	メールアドレス管理者のパスワードを設定します。 ・半角大文字、半角小文字、数字、記号のうち、3つを組み合わせ、8文字以上 14文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	なし
パスワード有効期限 (日)	管理者パスワードの有効期限の設定です。日数を指定する場合はラジオボタンの日数を選択し、日数を入力してください。	無期限	
ネットワークリセット番号	ネットワーク設定のリセットで使用する番号です。(19 ページ参照) お知らせ： この番号は必ず控えておいてください。管理者パスワードを忘れたときなどネットワーク設定をリセットする場合に必要です。	—	
設定	[設定] ボタンをクリックすると、上記の設定／変更内容を本体に送り、書き換えます。 書き換えが完了するとユーザー設定のページが「設定しました。」の文字表示に変わります。	—	

(注1) 管理者権限とは別にメールアドレス管理のみをできる権限を設定できます。

お知らせ

- ユーザー設定を下記に控えておくと忘れたときに便利です。

管理者ユーザー名

管理者パスワード

ネットワークリセット番号

■管理者メニュー—セキュリティ設定

セキュリティを設定すると設定項目へのアクセスをできないようにすることができます。



セキュリティ設定項目	設定内容／説明	初期値
USB メモリ	USBメモリへの保存機能を禁止または許可します。	許可
PC 接続 (USB)	PC 保存用メモリへの画像取り込みを禁止または許可します。	許可
IC カード	IC カードの使用を禁止または許可します。	許可
設定	[設定] ボタンをクリックすると、上記の設定／変更内容を本体に送り、書き換えます。 書き換えが完了するとセキュリティ設定のページが「設定しました。」の文字表示に変わります。	—

■管理者メニュー—メモリ管理

メモリチェックおよびメモリフォーマットを行うことができます。



メモリ管理項目	設定内容／説明	初期値
メモリのチェック	[メモリのチェック] ボタンをクリックすると本体に内蔵しているメモリのチェックを開始します。終了するとチェック結果を表示します。警告が出たときはメモリのフォーマットを行ってください。	—
メモリのフォーマット	[メモリのフォーマット] ボタンをクリックすると本体に内蔵しているメモリをフォーマットします。 ご注意：メモリ内に保存された送信先メールアドレスデータとヘッダー/フッター画像データが全て削除されます。	—

■ヘッダー／フッター

ヘッダーとフッターを本機に登録して画像を確認する画面です。



画像選択の画面



プレビューの画面

画像選択/プレビュー項目		設定内容/説明	初期値
画像選択	ヘッダー/ フッター画像選択	本体に登録する画像がヘッダーかフッターかを選択します。 ラジオボタンをクリックして選択します。 ・画像作成については 22 ページをご覧ください。	ヘッダー
	参照	[参照] ボタンをクリックするとファイル参照画面が開きます。画像を選択し、決定してください。	—
	送信	選択されているヘッダーまたはフッターの画像を本体へ送信します。 [送信] ボタンをクリックすると送信を開始します。 ・すでに本体に登録されている場合は、上書きされます。	—
プレビュー		本体に登録されているヘッダーおよびフッター画像をプレビュー表示します。	—

■機器情報一覧

本機に設定している詳細設定の内容と本機のファームウェアのバージョンを表示します。なお、パスワードは表示しません。



■ IC カードと送信先メールアドレスを登録する

普段お使いの社員証などの IC カードをタッチすることで、指定のメールアドレスに読み取り画像を添付したメールを送信することができます。

この機能を使うには、あらかじめメールアドレス管理ファイルを使用して、IC カードと送信先メールアドレスを登録しておく必要があります。

使用できる IC カードの種類は Mifare と FeliCa です。

1. メールアドレス管理ファイルの作成

メールアドレス管理ファイルのファイル形式は CSV 形式です。

お手持ちの表計算ソフト、あるいはテキストエディタで作成してください。

登録内容は下表の通りです。1 つのカード情報は 1 行に下表の番号順に各項目を記入してください。ファイル名は任意です。

番号	登録項目	内容	備考
1	カード ID	IC カードの固有 ID	数字 0 ~ 9 とアルファベット A ~ F からなる 8 ~ 16 文字の番号
2	メールアドレス	送信先メールアドレス	<> & ". スペースを除く英数半角記号 64 文字以内
3	有効期限	このカードで送信可能な有効期日	空白の場合は期限なし 日付形式 (例) : 20161231
4	EOL	行の終わりを示す	必須

●テキストエディタで作成する場合

各項目を「,」（カンマ）で区切ります。保存するときにはファイルの拡張子に「.CSV」と指定します。

記入例：

```
1234abcd,SendAddress1@example.com,20161231,EOL  
567890ef,SendAddress2@example.com,,EOL
```

●表計算ソフトで作成する場合

ファイルを保存する際に、ファイル名を指定して保存し、ファイル形式で CSV を選択して保存します。

記入例：

◇	A	B	C	D
1	1234abcd	SendAddress1@example.com	20161231	EOL
2	567890ef	SendAddress2@example.com		EOL
3				
4				

お知らせ

- IC カードの固有 ID は Mifare では UID、FeliCa では IDm と呼ばれる番号です。
- 1 つの IC カードに対して 1 つメールアドレスを登録できます。
- IC カード、メールアドレスともに重複して登録することはできません。
- 最大 5000 件まで登録可能です。

ご注意

- ご使用になる IC カードの固有 ID は IC カードを管理するご担当者にお問い合わせください。
- 作成されたメールアドレス管理ファイルは、お客様の責任の下、大切に管理してください。

ネットワークと接続して使う

2. メールアドレス管理ファイルを本体に送信する（ブラウザの操作）

- ① ICカードを登録する本体にブラウザでアクセスし、ネットワーク-メールアドレス管理メニューを開きます。
- ② インポートの【参照】ボタンをクリックして登録するメールアドレス管理ファイルを選択します。
- ③ 【送信】ボタンをクリックします。
- ④ 送信が成功すると画面に「正常終了」と表示されます。
- ⑤ メールアドレス管理メニューを再表示し、最終更新日と登録件数が正しいことを確認してください。



お知らせ

- 登録するICカードの数が最大数（5000件）の場合、登録に20秒程度時間がかかります。
- メールアドレス管理メニューで表示される最終更新日には、メールアドレス管理ファイルがPCで保存された日付が反映されます。

ICカード登録後の使い方は25・26ページをご覧ください。

■ネットワーク設定のリセット

本体のボタン操作でネットワーク設定を初期化します。

リセットされる設定項目： 管理者ユーザー名、管理者パスワード、メールアドレス管理者ユーザー名、メールアドレス管理者パスワード、送信履歴レポート、パスワード有効期限、日数指定、端末名、IP 取得方法、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー IP 取得方法、優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバー、プリンタアドレス、プリンタポート、部門コード、SMTP サーバーアドレス、SMTP サーバーポート、SMTP アカウント名、SMTP パスワード、認証方式、暗号化、差出人名、差出人メールアドレス、ドメイン制限、送信許可ドメイン、タイムアウト時間、メールアドレス登録先、LDAP プライマリサーバーアドレス、LDAP プライマリサーバーポート、LDAP セカンダリサーバーアドレス、LDAP セカンダリサーバーポート、認証ユーザー、認証パスワード、検索起点エントリー、カード ID 属性名、メールアドレス属性名、タイムアウト時間、SSL 通信 (HTTP 設定)

ご注意

- リセットを行うとネットワーク設定をもとに戻すことはできません。
- リセットを行うとボード本体に保存されている画像データは削除されます。

1. 電源のボタンを押したままネットワーク印刷 ■ ボタンを押す

ネットワーク設定リセットモードに変わり、表示窓は“00”を点滅表示します。



2. ネットワーク印刷 ■ (増加) または本体プリンタ ■ (減少) ボタンを押してネットワークリセット番号を表示させる

- ・ ネットワークリセット番号は管理者権限で「管理者メニュー」 - 「ユーザー設定」を選択すると見ることができます。

ネットワーク印刷ボタンを押すごとに 01 → 02 → …… → 99 → 00 → と切り替わります。
本体プリンタボタンを押すごとに 99 → 98 → …… → 01 → 00 → 99 と切り替わります。



番号は例です



3. USB 保存 ■ ボタンを押して決定する

キャンセルするときは、電源のボタンを押してください。
リセット番号が一致した場合は、表示窓が“LA”を5秒間点滅した後、本機のネットワーク設定が初期値に書き換わり自動的に本機が再起動します。



- ・ “LE”と5秒間点滅後点灯に変わった場合は、リセット番号を間違えています。
- ・ 電源のボタンを押してキャンセル後、1の手順からやり直してください。

■ヘッダー／フッターの作成と登録のしかた

社名やロゴなどの情報を読み取り画像の上下に合成して印刷または表示させるのがヘッダー／フッター機能です。日付と時刻はヘッダーの右上に印刷されます。

●ヘッダーおよびフッター画像を作成する

お手持ちの画像ソフトで JPEG ファイルを作成してください。

画像は下記の解像度で作成してください。

ヘッダー画像の最大サイズ：1248 × 110 ドット※ 画像形式：JPEG

フッター画像の最大サイズ：1248 × 40 ドット 画像形式：JPEG

※ pixels (ピクセル) と表示する場合があります。

お知らせ 解像度が許容内の画像データでも上下の一部が表示されないことがあります。

画像表示位置

横方向はほぼ中央に配置されます。縦方向は読み取り画像エリアに寄せて配置されます。最大サイズ以下の画像を作成するときは考慮してください。

作成のヒント

ロゴデータはイメージスキャナで画像データとしてパソコンに取り込み、指定の解像度内に収まるように切り抜いたりサイズダウンして保存します。

Windows のペイントなどのソフトを使って画像の貼り付けや文字を入力して作成します。

保存するときは最大サイズ以内のサイズにし、JPEG 形式で保存してください。

●本体に作成画像を登録する

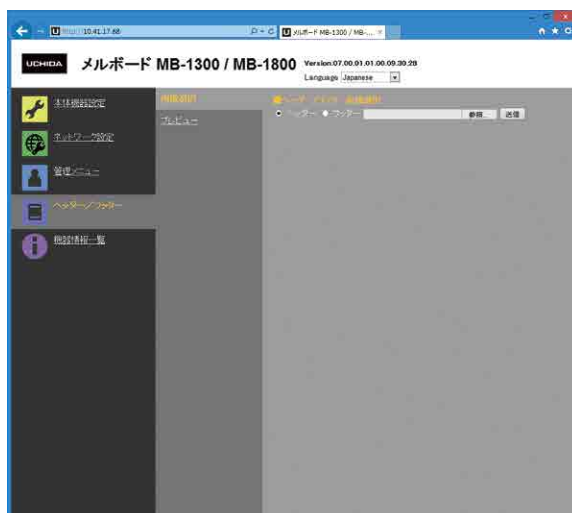
例：ヘッダー画像の登録について説明します。フッター画像を登録するときは同じ要領で登録してください。

1. 詳細設定 (LAN 経由) のヘッダー／フッター画面を開きます。(18 ページ参照)
2. ヘッダー／フッター画像選択
・プレビューを表示しているときはサブメニューの「画像選択」をクリックしてください。
ヘッダーのラジオボタンをクリックします。
3. 作成したヘッダー画像を選択します。
[参照] ボタンをクリックすると、パソコンのファイルの参照画面を表示します。
登録するヘッダーの画像ファイルを選択し [OK] ボタンをクリックすると、ファイル名を表示します。
4. [送信] ボタンをクリックして本体へ送信します。
送信が完了すると「正常終了」と表示します。
この時、本体の表示窓は、「HF」の点滅 (5秒後点灯) になります。
「送信データが大きすぎます」と表示した場合は登録できません。画像ファイルのサイズを調整してください。

お知らせ ヘッダー／フッターを登録するとヘッダー／フッター機能は「有効」になります。

登録した画像の確認は「プレビュー」をクリックしてください。これで登録ができました。

Web ブラウザを終了させてください。



■ネットワーク設定-専用 IC カード設定 (オプション)

専用 IC カードへ FTP サーバーの設定を書き込みます。



専用 IC カード設定項目	設定内容/説明	初期値	
FTP 設定	FTP ユーザー名	FTP サーバーに登録済みのユーザー名です。本機が FTP サーバーへログインして画像ファイルを保存するために必要です。 ・半角英数記号を 32 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
	FTP パスワード	FTP サーバーに登録済みのパスワードです。本機が FTP サーバーへログインして画像ファイルを保存するために必要です。 ・半角英数記号を 32 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
	FTP サーバー IP アドレス	FTP サーバーの IP アドレスを入力します。	空白
	FTP サーバーポート	FTP サーバーの標準制御ポート番号です。 通常はこの番号でご使用ください。FTP サーバーのポート番号を変更している場合は、ネットワーク管理者の指示に従って変更してください。	21
	FTP 保存フォルダ名	FTP サーバーフォルダ内の画像ファイルを保存するサブフォルダ名を入力します。 ・半角英数記号を 200 文字以内で入力してください。使用できる記号は、記号一覧を参照してください。	空白
	SSL 通信	FTP 通信における SSL 通信の有効/無効を設定します。	無効
接続方法	FTPS 通信の接続方法が Implicit か Explicit かを設定します。	Implicit	
IC カード書き込み <small>(注 1)</small>	現在表示されている FTP 設定を IC カードに書き込みます。	—	

(注 1) IC カード書き込み方法は 24 ページ「FTP 設定を IC カードに書き込む (オプション)」をご覧ください。

■ FTP 設定を専用 IC カードに書き込む（オプション）

付属の専用 IC カードをタッチして指定の FTP 保存先に保存することができます。この機能を使うには、あらかじめ読み取り画像の FTP サーバーの保存先やパスワードなどの FTP 設定を専用 IC カードに書き込んでおく必要があります。

専用 IC カードは 1 枚のみ本機に付属しています。

1. FTP 設定を入力する（ブラウザの操作）

ネットワーク設定→専用 IC カード設定画面で FTP 設定を入力します。

設定内容は 23 ページをご覧ください。

2. 書き込む FTP 設定を本体に送信する（ブラウザの操作）

「IC カード書き込み」ボタンをクリックします。

現在表示中の FTP 設定がボード本体に送信されます。

3. 専用 IC カードに書き込む（ボード本体の操作）

NFC パネルの IC カードインジケータが緑点滅していることを確認してください。

専用 IC カードを本体の IC カードリーダーライター部にタッチしてください。

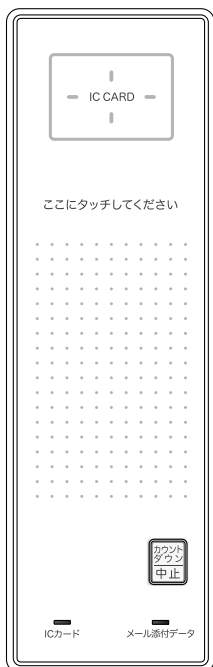
「ピッ！」と鳴り IC カードインジケータが緑点灯に変わります。

これで書き込みが完了しました。使い方は 25、26 ページをご覧ください。



読み取り画像を保存 / メール送信 / 印刷する

以降の説明は、LAN ケーブルの接続、ネットワークの各種設定、IC カードの登録などが完了しているものとして記述しています。IC カードを使用した場合、ファイル名は日付_時刻です。(例 :20160123_012345.pdf)
メール送信をする場合、メール送信後に別の IC カードをタッチすることで、再度スキャンせず同じ読み取り画像を違うメールアドレスに送信することが可能です。



準備

電源プラグが壁面の電源コンセントに接続しているか確認してください。



1 電源のボタンを押して電源を入れる



お知らせ

- 電源を入れる際は、電源プラグを接続した後または電源を切った（スタンバイ状態）後、約 5 秒以上待ってから電源のボタンを押してください。
- 電源のボタンを押して電源を入れると、表示窓の LED が点灯します。



2 送り / 停止のボタンを押して保存したい面を出す



送り / 停止のボタンを押すとシート面を 1 面分左（次のシート面）にスクロールして自動停止します。

送り / 停止のボタンを押すとシート面を 1 面分右（前のシート面）にスクロールして自動停止します。

途中で停止するにはもう一度送り / 停止のボタンを押します。

読み取り画像をメールに添付して送信する

IC カードを NFC パネルの IC カードリーダーライター部にタッチする



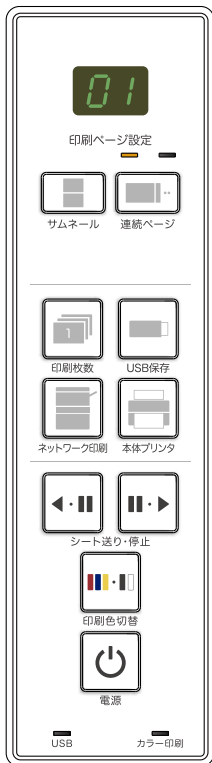
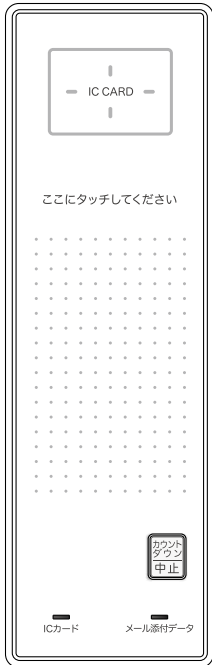
メール送信中は順次回転点滅

1 面分の読み取り動作（スクロール）をし、停止すると登録されたメールアドレスにデータを添付してメールを送信します。

IC カードと送信先メールアドレスの登録方法は 19 ページをご覧ください。

メール送信が完了すると、メール添付データインジケータが緑点灯し、表示窓に 30 と表示され 1 秒ごとにカウントダウンされていきます。





読み取り画像を連続して別のメールアドレスに送信する

カウントダウン中に別の IC カードをタッチする



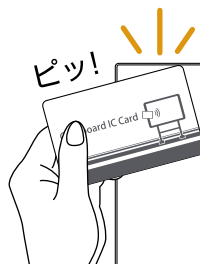
読み取り画像を登録されたメールアドレスにメール送信します。メール送信が完了すると、再び表示窓に 30 と表示されカウントダウンが開始されません。

カウントダウンを途中で止めたい場合は、中止ボタンを押してください。カウントダウンを中止し、メール添付データを削除します。



読み取り画像を FTP サーバーに保存する (オプション)

専用 IC カードを NFC パネルの IC カードリーダーライター部にタッチする



保存中は順次回転点滅

1 面分の読み取り動作 (スクロール) をし、停止すると専用 IC カードに書き込まれている FTP 保存先ヘッダーが保存されます。

- 専用 IC カードへの FTP 設定の書き込み方は 24 ページをご覧ください。

お知らせ

- 複数のシート面を連続して保存することができます。別冊の「メルボード MB-1300/MB-1800 取扱説明書」をご覧ください。連続保存を行った場合は、画像形式が PDF の場合は 1 つのファイルに全ての画像を結合します。その他の画像形式の場合は、順次ファイル名の最後に -1、-2 が付加され複数のファイルが保存されます。(例 :20160123-012345-1.png、20160123-012345-2.png)
- ネットワークの通信状況によっては、認証やデータ保存、メール送信に時間がかかる場合があります。
- 電源を入れても IC カードインジケータが点灯しない場合は、セキュリティ設定 - IC カードが「禁止」に設定されています。(17 ページ参照)
- 表示窓に“L1”～“L5”点滅(約5秒間)が表示された場合は、ネットワーク設定が正しくないことを知らせています。(別冊「メルボード MB-1300/MB-1800 取扱説明書」参照)
- IC カードの読み取りエラーで表示窓に“Ld”(約 3 秒間)点滅が表示された場合は、IC カードの有効期限が切れている(19 ページ参照)か、ドメイン制限で許可されているドメイン(12 ページ参照)以外にメールを送信しようとしています。
- 読み取り動作中に電源ボタンを押した場合、読み取り動作が中断され途中までの画像データが保存 / メール送信 / 印刷されず。
- 保存されたファイルの日付 / 時刻は本機の時刻が記録されます。時刻設定は 10 ページ「本体機器設定」または別冊の「メルボード MB-1300/MB-1800 取扱説明書」をご覧ください。

ネットワークプリンタから印刷する

ネットワーク印刷ボタンを押す。



1 面分の読み取り動作(スクロール)をし、ネットワークに接続しているプリンタから印刷されます。

お知らせ

- サムネール印刷や連続印刷など本機に接続のプリンタと同じ印刷ができます。選択は別冊の「メルボード MB-1300/MB-1800 取扱説明書」をご覧ください。
- ネットワークプリンタから印刷するときは、あらかじめネットワーク設定 - 本体 / プリンタ設定の「BMLinkS」でプリンタアドレスとプリンタポート番号を設定する必要があります。ネットワーク管理者にアドレスとポート番号をお尋ねください。
- 本機のネットワーク印刷ボタンで印刷できるプリンタは、BMLinkS 対応プリンタのみです。

株式会社 **内田洋行**

本製品に関するお問い合わせ
ウチダコールセンター

TEL ☎ **0120-101-884**